



カリオカの風

リオデジャネイロ日本人学校通信

2月号

令和8年2月9日

校長 小堺 広司

学校教育目標

「やさしく

かしこく

たくましく」

～世界の架け橋となる子どもたちの育成を願って～



次の季節に向かって、学びの瞬間を大切に過ごしましょう！

歌人・俵万智さんは「最後とは知らぬ最後が過ぎてゆくその連続と思う子育て」と歌いました。子育ては大変だけど、赤ちゃんの頃や、家族そろってのご飯、服を着させたなど、「あれ？いつが最後だったのだろう、もし最後と分かっていたなら、もっと瞬間を大切に味わっていたのに」と息子さんの全寮制中高一貫校進学を機に気付いたそうです。その後、父の死に際も覚悟をもって迎えることができ、永遠でないから尊い最後の瞬間をしっかりと味わいたいと言います。

NIEタイム（小6～中学部に週末出す新聞を活用した宿題）に選んだ読売新聞記事に書かれていました。子どもたちは、これまでリオ日学で過ごしたことのひとつひとつを思い出しながら、「何事にも終わりは訪れ、永遠でないから尊い」ことに共感して自分の想いを連ねます。

1年を振り返る季節がやってきました。リオ日学が、いつまでも輝き続ける学校となるよう、丁寧な言葉がけと共に子どもたちを見守ってまいります。

○ 卒業式・修了式のご案内

『小学部第47回 中学部第38回 卒業式』を下記の通り挙行いたします。事情により年間計画でお示した日程より1日早くなっておりますが、関係する皆様と一緒に門出を祝福したいと思います。

また、修了式・離任式は当初の予定通りの実施となります。保護者の皆様には2日間連続となりますことをご容赦ください。どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年3月10日（火）

9:00～10:15 卒業式
10:15～10:55 学活
11:00～12:00 児童生徒お別れ会
12:00～12:40 学校昼食会
13:00 下校

令和8年3月11日（水）

8:30～9:30 片付け・清掃
9:30～10:00 修了式
10:10～10:40 離任式
11:00 下校

<全校朝会 校長講話より 2月2日>

「葉っぱのフレディ」という絵本のお話を通して、これまでリオ日学で過ごしてきた日々を振り返りながら、命を大切に、自分を信じて生きる話をします。

春が来て、大きな木の梢に葉っぱのフレディは生まれました。葉っぱはひとつとして同じ形はなく、隣のアルフレッド、右側のベン、すぐ上のクレアなど、みんな春に生まれた仲間たちです。親友のダニエルはフレディにいろいろ教えてくれました。「暑さから逃げ出した人間に涼しい木陰を作ってあげると喜ぶんだ。これも葉っぱの仕事なんだ」。フレディは、友だちはたくさんいるし、毎日楽しくて夢を見ている気分です。10月の終わりのある晩、突然寒さがやってきました。葉っぱは一気に紅葉し、みんな違う色になりました。

「いる場所が違えば、太陽の角度や風の通り具合、月の光、星明り、なにひとつ同じ経験はないんだ」。ダニエルが言います。風が変わったのは、その後でした。葉っぱにおそいかかり、葉っぱはこらえきれず吹き飛ばされ落ちていきました。「みんな引越しをする時がきた。とうとう冬がきたんだ。ぼくたちはひとり残らずここからいなくなるんだ」「死ぬということ？」フレディが聞くと、「いつかは死ぬさ。でも、いのちは永遠に生きているのだよ」とダニエルは答えました。「さようならフレディ」ダニエルはゆっくり静かにいなくなりました。フレディはひとりになりました。初雪の朝、明け方の風に乗って、フレディは枝を離れました。怖くありませんでした。地面に降りて、はじめて木の全体の姿を見ました。冬が終わると春が来て、雪はとけて水になり、枯れ葉のフレディは土に溶け込んで、木を育てる力になるのです。いのちは永遠に生きているとダニエルが言ったのはこのことだったのです。

みなさんは何を感じましたか？こんな風に読み取ることができます。

- ・葉っぱの形がそれぞれ違う＝人の個性はそれぞれ
- ・木陰を作る＝人のために尽くすことの素晴らしさ
- ・紅葉＝人生の経験によって、生き方の色が決まる
- ・枝を離れる＝独り立ちして、生きる世界の大きさを知る

- ・枯れ葉＝いのちは永遠に違う形でつながっていく
- ・ダニエル＝人生を語り、人のために尽くす者がいる

これまでリオ日学で過ごしてきた日々を振り返ると、私たちは父や母からいのちを授かり、誰かのおかげで生きています。何のために生まれて、何をして生きるのか、フレディがヒントをくれていました。季節は繰り返して移ろい、人間は新たな出会いに向かって、希望を持って生きることができます。今日から2月、修了式まで1カ月半、登校日数で数えると25日です。まだまだたくさん授業や行事は続きますが、この1年で起きたことを思い出しながら、今穏やかに過ごせていることに感謝して、残りの日々を過ごしましょう。